

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	木造建築構法小委員会	主 査 名：堀江 亨 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (構法計画運営委員会)	委員長名：布野 修司 主 査 名：南 一誠
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的 ・木造建築における新技術や構法開発の情報収集 ・在来および伝統木造建築の構法史的研究 ・木構造の研究者との連携・共同研究あるいは研究の情報交換 ・在来、伝統木造建築構法の性能の再評価と向上のための技術 ・アジアを中心とする海外の木造建築構法に関する情報収集 2009 年度の活動計画 ・設置目的の各項目に関するゲストスピーカーによる研究会および見学会	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：堀江亨 (日本大学)、幹事：杉本健一 ((独) 森林総合研究所)、福濱嘉宏 (福濱嘉宏建築事務所)、委員：河合直人 ((独) 建築研究所)、木村勉 (長岡造形大学)、黒坂貴裕 (奈良文化財研究所)、黒田泰介 (関東学院大学)、後藤治 (工学院大学)、左海冬彦 ((財) 建築行政情報センター)、藤田香織 (東京大学)、松留慎一郎 (職業能力開発総合大学校)、源愛日児 (武蔵野美術大学)、村上淳史 (村上木構造デザイン室)、山畑信博 (東北芸術工科大学)、吉田倬郎 (工学院大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	伝統木造用語WG(日本の伝統木造の語彙に関する文献収集とその位置づけ、民家を例に日本建築の英訳およびイギリスの建築の和訳のための基礎準備を進める)	
2009 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 研究会 1 「企業による古民家再生の事例紹介～住友林業ホームテック～」参加者数 21 名 2. 研究会 2 「東京駅丸ノ内本屋戦災復興工事における木造小屋組みについて一新興木構造について」参加者数 9 名 3. 見学会 「東京駅丸ノ内本屋修理工事現場見学」参加者数 6 名 4. 研究会 3 「長崎・上五島町の江袋教会の修復の報告」参加者数 16 名 5. 研究会 4 「福勝寺本堂(重要文化財)の垂木用材の劣化調査」(2 月 23 日開催) 6. 伝統木造用語 WG 「民家の部材名称の検討」参加者数 9 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 木造建物の長寿命化という視点から、民家および伝統的木造建造物の再生事例の収集と約 60 年使用された木造小屋組の構法に関する検討を行い、本委員会の設置目的にかなう情報が得られた。 2. 伝統木造用語 WG の作業により、民家のイラスト付語彙集作成のための問題点が抽出できた。
委員会活動の問題点 ・課題	研究会等で収集した情報のとりまとめと成果の公表に関する検討が必要である。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。